

DipArmor

ディップアーマー（剥がせるトップコート） 取扱説明書（2020/4/28）

一般的な安全対策、免責事項、適合性

ディップアーマーは上級者向けのトップコートです。本製品はすべてのユーザーに適しているわけではありません。本製品は、説明書をよく読み、それに従ってご使用ください。誤った使い方や説明書に従わない場合、車だけでなく、使用者にも影響が及ぶ可能性があります。製品を適切に塗布するために必要な安全保護具やスプレー機器に細心の注意を払って下さい。お客様の使用目的に対する本製品の適合性及び互換性についての最終的な判断は、お客様が単独で行うものとし、DipYourCar.com は、購入した製品の使用方法、または最終結果に対する責任または法的責任を一切負わないものとし、車に塗布する前に、すべての材料をテストし、適切な塗布が可能かどうかを確認してください。適切な安全保護具を着用し、換気の良い場所で使用してください。DipYourCar.com は適切なサポートを提供しますが、塗装に失敗した場合の払い戻し、交換、財政的支援は行いません。最終的な結果はすべて、使用者の責任となります。

一般情報および機器

製品システムの構成要素：

- A液（サテッククリア）
- B液（アクティベーター）
- C液（オブティマイザー）
- D液（リデューサー）
- ミッドコート ※（パール・メタリックなどの添加剤と併用する場合に使用します。）

使用機器：

ディップアーマーは、以下のいずれかの機器で塗布することができます。他の塗料やコーティングと同様に、高品質のスプレー機器を使用すると、より良い仕上がりになります。

- DYC スプレー機器（標準）
- DYC スプレー機器（上級者用）
- HVLP/RP スプレーガン（チップ：1.4）

塗装に必要な安全保護具：

- フルフェイス呼吸器（例：3M社 07163）
- 全身防護服（再利用可能なもの、または使い捨てのもの）
- スプレー時は、常に適切な空気の流れと換気を確保すること。

下塗り（ベースコート）

下塗りとの適合性：

- ディップアーマーは、プラスティディップ、パフォーマンスシリーズ、プロライン（マット）の全て色の上にスプレーすることができます。ディップアーマーは、ディップパール トップコートやプロライン（サテン）の上にはスプレー出来ません。
- プロライン（マット）の上にも、ディップアーマー トップコートを直接スプレーすることができます。
- パールやメタリックなどの添加剤を使用する場合、添加剤はディップアーマー ミッドコートに混合してスプレーします。繰り返しになりますが、ディップパール トップコートの上にディップアーマーをスプレーすることは出来ません。ディップパール トップコートをディップアーマー ミッドコートに変更し、添加物を混合し、スプレーしてください。
- パールやメタリックなどの添加剤をプロラインに使用する場合、プロライン マットクリア ガロンに添加剤を混合してください。
- プラスティディップやプロラインのウェット（湿潤）コートが8~10回適切に塗布されたことが確認できない場合には、ディップアーマーをスプレーすることは出来ません。

既存のDYC塗膜の上にディップアーマーをスプレーする場合：

- ディップアーマーは、既存のDYC塗膜の上にスプレーすることができます。
- 既存の塗膜がプラスティディップ、パフォーマンスシリーズ、またはプロライン（マット）の場合、スプレーすることができます。
- 既存の塗膜がディップパール トップコートやプロライン（サテン）場合には、スプレー出来ません。それらの塗膜を剥がし、適切な製品を塗布することでディップアーマーのスプレーが可能になります。
- ディップアーマーをスプレーする前に、既存の塗膜を十分に清掃する必要があります。
- 既存の塗膜表面をディップウォッシュと水で徹底的にこすり洗いをし、24時間乾燥させます。
- プレディップスプレーとマイクロファイバータオルで、既存の塗膜表面を拭きます。
- イソプロピルアルコールとマイクロファイバータオルで、既存の塗膜表面を拭きます。
- 上記のどの作業も省略しないでください。ディップアーマーが正しく付着するためには、既存の塗膜表面が完全に綺麗な状態である必要があります。汚れ、油分、ゴミ、ほこり、界面活性剤、ディップコート、シーラントなどは完全に除去して下さい。
- **重要：**必ず車両全体を正しく、しっかりとマスキングしてください。ディップアーマーの過剰スプレーを不必要な箇所に付着させないでください。
- テクスチャー面や、汚れたり、傷ついた表面はディップアーマーの下地として適当ではありません。古い塗膜や劣化した塗膜は、剥がして新しい下地を塗装する必要があります。
- 以下の塗装の指示に従い、ディップアーマーのスプレーを進めてください。

※ディップアーマーの塗料が不必要な箇所に接触しないように、すべてのマスキングを3回確認してください。ディップアーマー トップコートを塗布する前に、ディップアーマー ミッドコートをウェット（湿潤）コートで2~3回スプレーすることを強くお勧めします。これにより、ディップアーマー トップコートが既存の塗膜に接触する可能性を最小限に抑えることができます。ディップアーマー ミッドコートを塗布せずに、既存の塗膜の上にディップアーマー トップコートを塗布することを選択した場合、過剰スプレーから表面を保護することは出来ません。車のマスキングは非常に重要であり、正しく行われる必要があります。

下塗りの状態：

- ディップアーマーを塗る前に、最後の下塗りの塗膜が指触乾燥してから1時間待ってください。
- 下塗りが滑らかなほど、ディップアーマーも滑らかに仕上がります。下塗りの表面にテクスチャーがある場合は、ディップアーマーの表面にもテクスチャーが発生します。

ディップアーマー トップコートの攪拌

ディップアーマー トップコートの攪拌：

- ディップアーマー トップコートは4液性です。
 - A液：サテックリア
 - B液：アクティベーター
 - C液：オプティマイザー
 - D液：リデューサー
- 4つの成分が揃っていない状態でディップアーマー トップコートを使用することは絶対に避けてください。

ディップアーマー専用の攪拌カップを使用することを推奨します。

ディップアーマー キットには、専用の攪拌カップが2個付属されています。このカップを使用すると簡単に混合することができます。攪拌カップには4つ線が用意されています。1つ目の線はA液、2つ目の線はB液、3つ目の線はC液、4つ目の線はD液用です。A液から順に、各液を指定された線までゆっくりと注いで入れてください。

攪拌カップ1個あたり1クォート（32オンス）のスプレー可能なディップアーマー トップコートの塗料を作ることができます。

攪拌カップを使用しない場合の混合方法（上級者向けのみ）：

- A液とB液を4：1の割合で混合します。
 - 例）A液：100オンス、B液：25オンス（4：1の割合）
- C液は、A液とB液の合計重量の20%を混合します。
 - 例）A液100オンス+B液25オンス=125オンス。C液：125オンスの20%=25オンス
 - C液の重量は、最も近い整数値に切り上げます。
- D液（リデューサー）を15%の割合で混合します。
 - A液、B液、C液の合計重量を計算し、その後D液の重量を計算します。
 - 例）A液、B液、C液の合計重量が150オンスの場合、D液の重量は23オンス（150オンスの15%）
 - D液の重量は、最も近い整数値に切り上げます。

スプレー前に必ず全成分を十分に攪拌してください。

ペイントカップに注ぐ際は、必ずコーンフィルターで濾してください。

※すべての車種は異なるため、使用量も異なります。車種ごとのディップアーマーの正確な使用量の目安はありませんが、大まかな目安は以下の通りです。

- 二輪車及びバギー：1クォート
- 小型車（ミニクーパー、マツダMX-5 Miata等）：2クォート
- クーペ：3クォート
- セダン：4クォート
- SUV・トラック：5クォート以上（必要に応じて）

2度スプレーするため、途中で材料がなくならないように必要量よりも少し多目に材料を準備して下さい。もし迷ったら、1クォート余分に準備して下さい。ディップアーマーのポットライフは約1時間です。ポットライフの時間内にスプレーして下さい。

ディップアーマートップコートのスプレー

最後の下塗りの塗膜が指触乾燥してから、必ずさらに 1 時間空けてください。下塗りの塗膜から溶剤が抜けるのを待つことが重要です。

ディップアーマーをスプレーする際には、失敗を防ぐため、事前に試験用パネルに試し吹きをして下さい。

DYC スプレー機器（標準）または DYC スプレー機器（上級者用）を用いたスプレー方法：

- 下塗りに使用したスプレーガンを引き続きディップアーマーのスプレーに使用する場合は、スプレーガンを分解し、ナフサシンナーでしっかりと洗浄してください。
- スプレーガンのダイヤルを 6 インチに合わせます。
- ディップアーマーを薄く、湿った状態で、重ねてスプレーします。
- 湿らせ過ぎて液垂れしないように注意してください。
- フラッシュオフタイム（溶剤が揮発する時間）はありません。1 回目のスプレーが終わったら、直ぐに 2 回目のスプレーを始めてください。

HVLP/RP スプレー機器を用いたスプレー方法：

- スプレー圧力 18~22PSI を推奨しますが、必要に応じて調整して下さい。
- 推奨チップサイズ：1.4
- スプレー時の圧力が高いと、ドライラインや仕上げのむらを引き起こす可能性があります。
- ディップアーマーを薄く、湿った状態で、重ねてスプレーします。
- 湿らせ過ぎて液垂れしないように注意してください。
- フラッシュオフタイム（溶剤が揮発する時間）はありません。1 回目のスプレーが終わったら、直ぐに 2 回目のスプレーを始めてください。

ディップアーマーの硬化時間：

- 気温にも関係しますが、15~30 分でほこりのない、滑らかな状態になります。
- ディップアーマーはすぐに乾き始めますが、最終的な光沢と仕上げを定着させるために一晩、乾燥させて下さい。スプレー後 12 時間程度は、表面に曇りやムラが見られることがあります。
- 5~7 日間で完全硬化します。

「ピールウェンウェット」：

- スプレーする前に、「ピールウェンウェット」の箇所を確認します。
- 多くの場合、ディップアーマーの 2 回目の塗膜がまだ湿っている間にマスキングを剥がすことができます。下塗りが十分に柔らかくなり、マスキングを剥がすときれいな線が出来ます。「溝」がない場合や「つながり部分」多い場合には、塗膜を線に沿ってカミソリで慎重に切断する必要があるかもしれません。

トラブルシューティング（問題解決）：

- ディップアーマーの 1 回目の塗膜にはピンホールが発生することありますが、2 回目を（適切に）スプレーすることで、ピンホールはなくなります。
- 硬化後、ディップアーマーがピクセル化しているように見える場合、または表面に小さな剥離がある場合は、スプレー時の湿り度合いが低い可能性があります。
- ディップアーマーを初めて車にスプレーする場合、必ず事前に試験用パネルでスプレーの練習をしてください。
- DYC スプレーガンは、ディップアーマーのスプレーが終了後、高純度のイソプロピルアルコールで洗浄して下さい。アルコールで 2~3 回洗浄し、材料がスプレーガンの中に残らないようにして下さい。

ディップアーマートップの清掃とアフターケア

注意事項：洗車、ワックスがけ、セラミックコーティング、シーリング

- ディップアーマーのスプレー後 30 日間は、シーリング材やセラミックコーティングを塗布しないでください。
- ディップアーマーのスプレー後 24 時間は、洗車しないで下さい。
- 24 時間後に、ワックスやシーラントを含まない車用洗剤で洗車します。洗剤には、DYC ディップウォッシュを使用することをお勧めします。
- クイックディテ일러（水なし洗剤）を使用することもできますが、ワックスやシーラントが含まれていないことを確認してください。
- DYC ディップコート プロテクトスプレーはディップアーマーに素晴らしい効果を発揮します。
- DYC では、専用に開発されたセラミックコーティングを用意しています。他社のセラミックコーティングを使用する場合には、ご自身の責任で使用ください。
- DYC のシミ抜き剤を使用して、表面に付着した虫、樹液、垢、タールなどの汚れを除去します。
- 使用する洗剤には、アルコールが含まれていないことを確認して下さい。

その他の注意事項

- ディップアーマーは耐ガソリン性ですが、ガソリンをこぼした場合は、洗剤と水で十分に洗い流し、表面を乾燥させてください。
- ディップアーマーとイソプロピルアルコールは相性が良くありません。アルコールを含む化学薬品や洗剤を使用しないでください。
- ディップアーマーは非常に汚れにくいのですが、通常のコーティングと同じで、シミが付かない訳ではありません。鳥のフン、タール、油などで汚れた場合にはできるだけ早く清掃してください。長期間放置すると、表面に欠陥が生じる可能性があります。
- ディップアーマーは非常に耐久性のある剥離可能なコーティングですが、防弾性能はありません。圧力洗浄機の使用は可能ですが、常識的な範囲内で使用してください。ワイドパターンのノズルを使用し、表面から 4 インチ（10cm）以上離して使用して下さい。衝撃が強すぎると、コーティングやトップコートが破損することがあります。

ディップアーマーの剥離及び除去

ディップアーマーは、以下の手順に従って剥がして下さい。

- ディップアーマーは、剥がす前に温めておく必要があります。
 - 剥がす前に 2~3 時間、直射日光に当ててください。
 - 日光に当てられない場合は、ヒートガンで慎重に温度を 100-110F（38℃~43℃）まで上げてから剥がして下さい。
 - ディップアーマーは、熱によってより柔らかくなります。温度が低い場合には、剥がさないで下さい。
- パネル 1 枚ずつ剥がして下さい。
- 常にパネルの端部から剥がします。マイクロファイバータオルを使って、パネルの端部を転がすように巻き上げ、端部から剥がしてください。
- パネル周辺の端部をすべて巻き上げたら、剥離を開始します。
- パネル全体を一枚で剥がす必要はありません。必ず反対側の端部に向かって剥がします。端部毎に剥がしながら、パネル全体が剥がれるまで続けます。
- 端部から反対側の端部に剥がすことで、塗膜が残りにくくなります。
- ディップアーマーの柔軟性は、下塗りの塗膜には劣ります。多少の割れ、剥離、剥がれは普通です。繰り返しますが、剥がす前に表面が温かくなっていることが重要です。
- 高純度イソプロピルアルコールをディップアーマーの端部と裏側にスプレーすると剥がしやすくなります。イソプロピルアルコールはディップアーマー分解し、剥離を容易にします。
- ディップアーマーの剥離に関するビデオを参照してください。

一般的なトラブルシューティング（問題解決）

ディップアーマーは、上級者向けの製品です。本製品は万人向けではなく、正しい使い方をしないと問題が発生する可能性があります。本製品は自己責任で使用するものであり、最終的な仕上がりは自己責任となります。

- 不必要な箇所へのスプレー（飛散）を防ぐ
 - スプレーする前に、塗装不要箇所を全て適切にマスキングする必要があります。
 - 間違ってスプレーが不必要な表面に付着した場合、必ずディップアーマーの硬化時間（気温にもよるが、2時間程度）内に対処して下さい。
 - 高濃度イソプロピルアルコールを塗布してから 20~30 秒後に、マイクロファイバータオルで圧力をかけながら拭き取ってください。必要に応じて繰り返します。ディップアーマーが硬化する前であれば、これでスプレーを問題なく除去できます。

- ディップアーマーの材料が液垂れした場合、以下の指示に従って下さい。
(※適切にスプレーされていれば、液垂れは発生しません。)
 1. ディップアーマーの塗膜を 24 時間以上乾燥させます。
 2. 液垂れ部分（過剰塗膜）を丁寧にサンディングします。研磨し過ぎないように注意してください。
 3. パネルの残りの部分を丁寧に研磨します。スコッチブライトパッドや 1000 番の軽いサンディングで十分です。パネル全体を軽く研磨してください。
 4. ディップアーマーの塗膜をサンディングで平坦にしようとししないで下さい。ディップアーマーはハイソリッドクリアではありません。次の塗装が付着するように、十分な塗膜を残しておく必要があります。
 5. ナフサで表面をきれいに拭きます。
 6. ディップアーマーを通常と同じ方法で 2 回塗布します。

- 下塗りの塗膜が薄くて剥離が困難な場合
 - 塗膜が薄くなり剥がしにくい場合は、高純度のイソプロピルアルコールを膜の上や裏にスプレーしながらはがします。アルコールはディップアーマーを分解して柔らかくし、塗膜が車の表面から剥がれやすくします。

※ディップアーマーは、プラスティディップやプロラインを塗布した強固な下塗りがない場合には、絶対に使用しないでください。それらを 8~10 回塗布することが、ディップアーマーの適切な下塗りとして最低限必要な条件です。車に適切な厚みの下塗りがない場合には、ディップアーマーを絶対にスプレーしないでください。